

令和6年度 衛生管理研修会（全国労働衛生週間説明会）を開催しました

令和6年9月5日（木）、栃木商工会議所ホールにおいて「令和6年度衛生管理研修会」を開催しました。

今年度の衛生管理研修会は、令和5年度「S+S運動」記録証授与式を実施した後に開催となりました。

「S+S運動」記録証受賞事業場にとっても多くの関係者がいる中で授与されるのは大きな励みになるものと思い、衛生管理研修会と同時に開催することとしたものです。

さて、第75回目を迎える令和6年度全国労働衛生週間は、「**推してます みんな笑顔の健康職場**」をスローガンとして、10月1日から7日までの1週間にわたり全国的に展開されます。

当研修会では、冒頭に主催者の栃木労働基準協会労働衛生部会・吉田進部会長、主唱者の栃木労働基準監督署大島充署長よりごあいさつをいただきました。

吉田労働衛生部会長からは、「想定を超える少子高齢化の進展によって、社会保障制度の在りようや人手不足が社会課題となっており、労働分野では「三位一体の労働市場改革」、いわゆる2024年問題ともいわれる「働き方改革」等の推進のためにも、多様な働き方への環境整備が求められている。そういった中、今年で第75回を迎える全国労働衛生週間が、10月1日から7日までの1週間「推してます みんな笑顔の健康職場」のスローガンの下実施され、9月1日から30日までを準備期間としており、当研修会もその期間に合わせて、自主的な労働衛生管理活動の定着に向けた取組の確認をお願いするものである」旨説明されました。



（吉田進労働衛生部会長挨拶）

大島監督署長は、日頃の行政への協力や、研修会への多くの関係者の参加に謝意を述べられ、研修会では令和6年度全国労働衛生週間の実施要綱、労働衛生の現状等の説明と、大きく変わっている化学物質管理の主要な点等を担当官から説明させていただく旨挨拶されました。

さらに、令和5年度「S+S運動」記録証受賞事業場に敬意を表しつつ、令和5年の栃木労働基準監督署管内は休業4日以上災害の急増、死亡労働災害の大幅増加等の厳しい状況にあったが、令和6年に入って、労働災害発生件数は、減少傾向になってきていることから、今年度も従前の栃木署管内「安全宣言」運動を一新して開始した栃木労基署管内『S+S(持続可能な安全作業)』推進運動！への積極的な取組を促し、更なる労働災害の減少に繋がっていきたい旨の挨拶がありました。



(大島充署長挨拶)

その後、第一部 全国労働衛生週間説明会として、栃木労働基準監督署安全衛生課・福重弘実労働基準監督官が、「労働衛生の現状」～労働衛生のしおりを中心に～の演題で、「令和6年度全国労働衛生週間説明会」(PP)資料に基づき説明されました。

トピックス①熱中症対策について、現在も酷暑が続いており、引き続き、警戒を怠らず熱中症対策の徹底を呼び掛けられました。

続けて、「定期健康診断における有所見率の推移」、「生活習慣病に関する項目の有所見率」「高血圧のリスクと対策(一例)」「ストレスチェックの実施状況」と説明されました。

さらに、トピックス②具体的な最新動向では、「化学物質管理強調月間」が創設される毎年2月は化学物質を総点検しようということで、令和7年2月からスタートすること等を説明されました。

トピックス③職業性疾病事例では事例1から事例3を説明され、具体的な職業性疾病事例が掲げられているサイトの紹介もありました。

PP資料 [「労働衛生の現状」～労働衛生のしおりを中心に～](#)

次に、小休止を入れて第二部「今日からできる！働く人のための健康づくりと感染対策」と題して、栃木県県南健康福祉センター所長 相子有一氏、健康対策課感染症予防チーム保健師 新江菜苗氏、健康対策課栄養難病主査 小島礼枝氏の三氏により特別講演を頂きました。



(特別講演をいただいた県南健康福祉センターの皆さま)

まず初めに、「結核と職場の感染対策について」として、新江菜苗氏がPP資料を活用して結核をめぐる現状と結核を正しく理解して対応することの必要性を説明されました。

PP資料 [結核と職場の感染対策について](#)

次に、「今日からできる！健康づくり～食事と運動～」として、小島礼枝氏がPP資料を活用し、生活習慣病にまつわる「栄養」と「運動」に関する塩分の摂取や喫煙の改善の取り組み等を説明されました。

PP資料 [今日からできる！健康づくり～食事と運動～](#)

最後に、「働く世代の健康づくり～国や保険者のデータや資料を引用して、健康を巡る状況を見てみる～」として、相子有一所長がPP資料を活用して「1生活習慣病の発症・重症化予防と健診受診の有効性」「2産業保健の現状と課題（厚生労働省「産業保健のあり方に関する検討会」等の資料から）」「3コラボヘルス、健康経営、地域・職域連携の推進」という項目について、御説明いただきました。

時間が限られた中ではありましたが、働く世代の「健康」を巡る現状について理解することが出来ました。

健康経営への取組、コラボヘルス、データヘルスの重要性、地域・職域連携の推進の有効性と重要性について確認していきたいと思えます。

PP資料 [働く世代の健康づくり](#)

令和6年度の衛生管理研修会は、当協会労働衛生部会(吉田進部会長)が中心となり実施致しました。

部会は、当日午前中に会員事業場より募集した「労働衛生標語」「転倒災害防止標語」の入選作品の選定等を行うとともに、研修会会場の設営などを行い当研修会の開催となりました。

参加者は50社58名で、概ね計画通りに有意義な研修会を実施することができました。

開催にご協力いただいた栃木県南健康福祉センター相子所長様をはじめ各講師、関係者の皆様はもとより、当日ご参加いただいた方々に感謝申し上げます。

今後も、協会では労働衛生管理に資する研修会を実施して参りますので、多くの会員事業場関係者のご参加をお待ちしております。



(監督署・労働衛生部会等関係者)

令和6年度衛生管理研修会

日時 令和6年9月5日(木)

場所 栃木商工会議所ホール

次 第

1. あいさつ

14:00～

一般社団法人栃木労働基準協会 労働衛生部会長
栃木労働基準監督署長

2. 衛生管理研修会

第一部 全国労働衛生週間説明会

演題：労働衛生の現状と対策及び全国労働衛生週間実施要綱

講師：栃木労働基準監督署

安全衛生課長 岡村 一平 氏

第二部 特別講演

演題：今日からできる！働く人のための健康づくりと感染対策

講師：県南健康福祉センター

所長 相子 有一 氏

健康対策課 栄養難病担当主査 小島 礼枝 氏

健康対策課 感染症予防チーム主任 新江 菜苗 氏

閉 会

16:30 予定

……令和6年度全国労働衛生週間スローガン……

推してます みんな笑顔の 健康職場